

会 議 録

会議名	令和5年度第4回小山地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)			
開催日時	令和6年2月20日(火) 19時00分～20時25分			
開催場所	小山公民館 大会議室			
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告事項 (1) 地域活性化事業交付金申請事業の交付状況等について (2) 来年度のまちづくり会議開催日程(案)について</p> <p>4 その他 (1) 来年度のまちづくり会議委員の推薦について (2) 委員からの報告事項</p> <p>5 閉 会</p>			

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、△は申請団体代表者の発言、●は会長の発言、▲は事務局の発言。)

1 開 会

2 あいさつ

入谷会長のあいさつにより開会した。

3 報告事項

(1) 地域活性化事業交付金申請事業の交付状況等について

入谷会長から小山地区における今年度の地域活性化事業交付金事業の交付件数は1件(令和6年2月20日現在)であることが説明され、その後、交付団体の代表者より資料に沿って、事業実績が報告された。

最後に、事務局から資料に沿って、3月1日号地域情報紙(小山地区)掲載記事について説明を行った。

申請団体名：小山の地域をつなげる会

事業名：小山地域の人と人をつなげるプロジェクト

事業内容：小山地域の各種団体との協力・連携による様々な活動を通して、地域住民同士のつながりを深め、より安心して安全なまちづくり活動を行う。

<主な意見・質疑等>

○市からの交付金額が昨年度は5万円、今年度は8万円とのことだが、実施事業の内容について、昨年度と比較して新規事業や変更点があれば知りたい。

⇒△実施事業の内容について、新規事業はないが、事業の実施回数を増やした。また、昨年度に比べ、地区内の諸団体とさらに連携を図りながら事業を実施した。

○交付金の申請額について、昨年度は下半期だけで総事業費が約5万円となっているため、今年度の事業を上半期から計画していたのであれば、8万円ではなく、10万円程度見積もっておけば赤字にはならなかったのではないか。また、年間8万円事業を実施するのであれば、赤字にならないように諸経費を削減する等、工夫すれば良かったのではないか。

⇒△ご指摘の通りである。今年度もマジックショーを予定していたが、予算が足りなくなることから断念した。その代わりに、事業の中でも予算執行額が少ない「歌の集い」を継続的に開催し、人と人とのつながりを強化することに注力した。来年度の予算については、中央6地区まちづくりセンターと相談しながら決めていきたい。

○事業の周知方法について、申請団体の構成員だけで解決しようとするのではな

く、他団体にも声を掛けて協力してもらった方が良い（小山地区自治会連合会広報編集委員会で発行している「おやま広報」や小山公民館で発行している館報等）。

⇒△現在は事業の周知用チラシを小山公民館内の掲示板に掲示したり、小山地区の地域情報紙に掲載したりしている。また、事業によっては、市社協にも協力してもらっている。過去には、各自治会へ周知用チラシの掲示依頼も検討したが、予算の関係や各自治会へ負荷を掛けてしまうことから断念した。

⇒○「小山の地域をつなげる会」というならば、他団体に対して遠慮せずに、小山地区全体を巻き込まなければ、小山の地域をつなげることはできないと思う。自治会長として、自治会員のためになる事柄であればチラシ回覧等は協力したいと思っている。

○東第一自治会が管理している掲示板の数は5つであり、相談してもらえれば協力できる。

⇒△大変心強い言葉を頂戴した。他の自治会等とも調整を図りながら、今後の周知方法について検討していきたい。

●各自治会が管理している掲示板の数は、小山地区自治会連合会事務局で確認することができる。周知用チラシの回覧依頼があれば、理事会において、各自治会長へ事業内容の趣旨等を説明しながら、協力を得ることも可能である。来年度は、チラシ印刷費を増額しても良いのではないかな。

▲小山地区自治会連合会をはじめ、他団体からも協力は可能といった意見があったことから、まずは各団体へ相談していただけたらと思う。

(2) 来年度のまちづくり会議開催日程（案）について

事務局から資料に沿って、来年度のまちづくり会議開催日程案について説明を行った。

本件について、委員からの意見は特になく承認された。

4 その他

(1) 来年度のまちづくり会議委員の推薦について

事務局から資料に沿って、来年度のまちづくり会議委員の推薦について説明を行った。

本件について、委員からの意見は特になかった。

(2) 委員からの報告事項

<主な意見・質疑等>

○小山地域包括支援センターが事務局となって開催している地域ケア会議において、移動支援について検討している。昨年10月に開催された小山地区まちづくりを考える懇談会でも発言をしたが、小山地区の一部の地域（丸山・向陽町・すすき

の町等)においては、相模原駅までの距離が近いことから、タクシー業者から乗車を断られた事例もある。また、神奈川中央交通のバス路線地図を確認したところ、宮下本町1丁目辺りにはバス停がなかった。こうした実情であることから、相模原駅までの交通手段を増やすべく、来年度以降、社会福祉法人のバスを使った移動支援の実現に向けて取組を進めていく予定である。

⇒●社会福祉法人のバスを使った移動支援とのことだが、コスト面はどうなるのか。

⇒○補助金の活用や総合相模更生病院が同じ法人であることから、透析・病院間を移動する車両及びドライバーを活用させてもらえるといった話であった。

○普段の移動手段に困っていない方にも、この移動支援に対する理解や興味を深めてもらい、小山地区が一丸となって取り組んでいけるようにしてほしい。

▲まちづくり会議と地域ケア会議の構成員が類似していることから、人によっては屋上屋を架していると思われるかもしれないが、地域ケア会議は、平成28年度に発足した専門性が高い会議体であることから、今後も地域ケア会議とまちづくり会議の連携は重要である。また、移動支援については、入谷会長も出席している中央区区民会議においても検討しており、青色パトロールカーの活用や社会福祉法人の車両の活用といった意見が出ている。一方で、実現するにも法律の壁があり、市でもアドバイザーの派遣を行っている。小山地区でもそういった制度を活用しながら移動支援について検討していただけたらと思う。光が丘地区では、実際に社会福祉法人の車両を活用した「買い物お太助カー」がある。

5 閉 会

星副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和6年2月20日開催

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会 長	出席
2	加治 左近	宮下自治会		出席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		欠席
4	本橋 純一	すすきの向陽自治会		出席
5	上田 久美子	向陽町自治会		出席
6	丸山 和加恵	久保原自治会		出席
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		欠席
9	福田 雅幸	東第一自治会		出席
10	笠原 昌昭	丸山自治会		出席
11	星 清次	小山公民館	副会長	出席
12	川口 久美	小山公民館		出席
13	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	出席
14	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		出席
15	小池 美恵子	小山地区民生委員・児童委員協議会		出席
16	篠崎 則男	小山地区老人クラブ連合会		欠席
17	金子 順	青少年健全育成協議会		欠席
18	永山 康雄	防犯指導員		出席
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		欠席
20	大谷 春枝	向陽小学校 P T A		出席
21	亀田 浩代	小山中学校 P T A		出席
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		出席
23	松橋 真奈美	小山地域包括支援センター		出席